

令和7年東根市議会第1回定例会 一般質問発言通告書

令和7年3月4日（火） 午前10時開議

番号	質問者	質問事項	質問要旨	答弁者
1	元木十四男 議員	1. 持続可能な本市商工業の発展と活性化について	<p>1. 現在、世界経済の混乱による物価や燃料費の高騰、また、長引く円安などもあり、地元の商工業者にとって厳しい状況が続いている。</p> <p>本市ではコロナ禍以降、国の交付金などを活用し、プレミアム付き商品券の販売、市民生活応援商品券の全戸配布、あと宿キャンペーンの実施など様々な事業を行ってきた。</p> <p>しかし、現在の状況を踏まえると、こうした一時的な対策に加え、地域経済の維持や好循環に向けた持続的な対策も必要と考える。</p> <p>また、2025年は日本社会を牽引してきた団塊の世代が75歳を迎え、いわゆる「大廃業時代」が訪れると予測されている。</p> <p>多くの経営者の高齢化が進む中、後継者がいない、後継者の選定が進んでいないという問題が浮き彫りになっており、これが店、会社の廃業や事業の縮小につながるリスクを高めている。</p> <p>そこで、以下の点について伺う。</p> <p>(1) これまで実施した商工業事業者への支援や経済対策と、その効果について</p> <p>(2) 後継者育成や事業承継に向けた取組について</p>	市長
		2. 公共下水道における污水管きよの維持管理について	<p>1. 本年1月28日、埼玉県八潮市で、老朽化した下水道管の破損により、道路が陥没しトラックが転落する大事故が発生した。影響は埼玉県東部の住民120万人の生活にも及び、「災害級の被害」との指摘もある。</p> <p>下水道管の老朽化は全国で進み、同様の事故は日本のどこでも起きる可能性がある。</p> <p>本市においても、下水道工事は污水处理施設の近くである長瀬地区から始まり、約50年が経過した。</p> <p>そこで、以下の点について伺う。</p> <p>(1) 污水管きよの現状について</p> <p>(2) 污水管きよの点検及び調査について</p> <p>(3) スtockマネジメント計画の進捗について</p>	市長

番号	質問者	質問事項	質問要旨	答弁者
2	植松 宏 議 員	1. 戦後80年の記念の年に「非核平和宣言都市」にふさわしいイベントの企画を	1. 今年2025年は戦後80年を迎える。また、昨年暮れには「日本原水爆被害者団体協議会」が、被爆の実相を世界に広げ、核兵器禁止条約へのうねりを作り出した活動が認められノーベル平和賞を受賞した。この記念すべき時期に、本市としても「非核平和宣言都市」にふさわしいイベントを企画すべきではないか。	市 長
3	山本 和生 議 員	1. 自治会の活動と行政の連携について	1. 自治会は住民の親睦、福祉、連絡、祭り、環境美化、防犯、防災など、生活にかかわる様々な活動で地域を活性化し、市全体の勢いにつなぐ重要な住民組織である。行政とも太いパイプで結ばれ、情報伝達や地域の要望を直接伝えるなど重要な使命を担っている。近年は転入者増加に伴う自治会未加入者の増加、役員の高齢化、なり手不足といった課題や、自然災害多発に伴う防災意識の高まりなども見えている。 そこで、次の2点を伺う。 (1) 転入者の増加に伴う自治会未加入者の増加の現状と、加入促進の取組について (2) 行政と自治会、自主防災会の連携について	市 長
		2. 高齢者福祉、長寿社会の充実に向けた敬老事業について	1. 本市は超高齢社会への進行への対応が重要な課題ととらえ、高齢者福祉事業として様々な施策を行っており、敬老事業は対象者7,000名となる大きな事業である。本市の高齢化率は28%を超え、敬老事業は高齢者福祉、長寿社会の充実の点から大きな意義がある。近年は高齢者の増加や、敬老会開催の担い手の高齢化等の課題もある。 そこで、敬老会共催事業と、敬老事業である長寿お祝いに関する事業について、現状と取組を伺う。	市 長

番号	質問者	質問事項	質問要旨	答弁者
4	福永 邦幸 議 員	1. 次代を担うこどもたちを育てる教育環境の整備について	<p>1. 本市では第5次東根市総合計画に「心豊かな人を育てる教育と文化のまち」を掲げ、目標や将来像に向けた取組を実施していると認識している。</p> <p>令和3年4月に策定した5カ年計画である「東根市教育等に関する施策の大綱」は、令和7年度が最終年度となっているため、目まぐるしく変化する教育環境の中で、これまでの施策の検証を行う時期に来ているのではないかと考える。</p> <p>次代を担うこどもたちの教育環境を更に向上させることで、より良い学びの機会を得られるようにすることが重要であると考えます。</p> <p>そこで、次の点について伺う。</p> <p>(1) 令和2年度からGIGAスクール構想に基づき整備促進してきたICT環境を効果的に活用し、こどもたちの教育環境にどのような成果が得られたか、また今後の方向性について教育長の見解を伺う。</p> <p>(2) 持続可能な社会を目指すために、学校教育の現場で環境教育やSDGsにどのように取り組んでいるか伺う。</p> <p>(3) 本市における、特別な支援を必要とする児童生徒に対する教育環境の整備状況とインクルーシブ教育の推進に向けた取組について伺う。</p>	教 育 長
5	工藤みどり 議 員	1. 家庭動物との共生社会に向けた取組について	<p>1. 近年、人々の暮らし方が多様化している社会で、様々な家庭動物を飼育している家庭が存在している。家庭動物を家族の一員として大切に感じている家庭がある一方で、動物アレルギーの方や、動物自体が苦手な方も同じ地域に暮らしている。その双方が住みよく、心豊かに暮らしていくためには、市としてどのような取組を進めていくのか伺う。</p> <p>(1) 令和6年6月に内閣府が修正した防災基本計画の中に、「家庭動物の飼養の有無による被災時のニーズの違いに配慮するよう努める」という新たな文言が追加されたが、本市の防災対策において、内閣府の防災基本計画の修正をどのように反映し、どのような取組を進めていくのかについて伺う。</p> <p>(2) 令和5年4月1日に猫の不妊去勢手術支援事業が開始されてから約1年半が経過したが、改めて目的と効果について伺う。</p>	市 長

令和7年東根市議会第1回定例会 一般質問発言通告書

令和7年3月5日(水) 午前10時開議

番号	質問者	質問事項	質問要旨	答弁者
6	東海林克彦 議員	1. 東根市地域防災計画について	<p>1. 本市では市民生活に重大な影響を及ぼす恐れのある災害に対処するため、「東根市地域防災計画」を策定しているが、その概要と市民に対する周知方法について伺う。</p> <p>2. 近年の震災経験等から、自助・共助による防災活動の重要性が再認識され、本市においても「地区防災計画」作成マニュアルを整備し、それぞれの地域における防災計画の整備促進を図っているが、これまでの計画策定率とその評価について伺う。</p> <p>3. 市内には土砂災害警戒区域が東根、神町、東郷、高崎地内に73カ所、うち土砂災害特別警戒区域が東根、神町、東郷、高崎地内に58カ所指定されている。これらの対策工事実施状況と危険箇所の解除について伺う。</p> <p>4. 災害避難時に当面過ごすため必要なものを入れる非常持ち出し袋の普及状況について伺う。</p>	市長
7	森谷俊員 議員	1. 学校給食における残渣削減と地域資源循環について	<p>1. 昨今の超物価高が給食費にも影響を与える中、給食の食べ残し(給食残渣)を減らすための取組について伺う。</p> <p>2. 財政負担を抑えながら、地域資源の循環を促進するための、給食残渣のリサイクルに向けた今後の取組や方針について伺う。</p>	教育長
8	深瀬明理 議員	1. 空き家問題についての現状と今後の方針について	<p>1. 「空家等対策の推進に関する特別措置法」が改正され、2023年12月に施行された。「管理不全空家」の新設、「緊急代執行」制度の導入、相続登記の義務化と連動した相続後の管理責任の強化など、空き家への対応が強化され、行政の介入をより迅速にする仕組みが整えられた。そこで、以下の点について伺う。</p> <p>(1) 空家特措法改正後の本市の空き家に対する対応の変化はあるか。また、「管理不全空家」制度の新設は、「特定空家」になる前に行政が介入できるようにし、早期の改善を促すことで空き家問題の深刻化を防ぐ趣旨であるため、積極的な「管理不全空家」の指定が必要と考えるが、見解を伺う。</p> <p>(2) 「管理不全空家」、もしくは、「特定空家」の指定を受け、何らかの措置が必要と思われる空き家も見受けられるが、この度の制度改正により市としてどのようなことができるのか伺う。</p>	市長